

会 議 録

1 会議名

令和4年度第4回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

（1）中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

○自主的審議事項

（1）住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年6月21日（火）午後7時から午後8時18分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、
外立正剛、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、大島次長、小林市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任

・浦川原区総合事務所：竹田次長、山本産業グループ長、長井主任

8 発言の内容（要旨）

【大島次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・秦克博委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

・挨拶

【大島次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

それでは、次第3報告事項（1）中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、から議事を進めていく。

本日は浦川原区総合事務所から職員が出席されているので、説明を求める。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

本日は市の農業施策の取組について説明させていただきます。

市の農業施策においては、高齢化や過疎化の進展に加えて、担い手不足や生産条件不利など中山間地域特有の課題を抱える中で、中山間地域農業の維持に向けて、ありたい姿、将来の方向性を皆で共有することを目的として、昨年度から市内7つの地域自治区で、幅広い世代の農業者の方からご参加いただき、ワークショップ形式による話し合いをしている。

地域の主な産業である農業に関することであるので、本日は、情報提供として令和3年度のワークショップの開催状況と今後の展開について、報告させていただきます。

産業グループの山本グループ長から説明させていただきます。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

資料に基づき、令和3年度におけるワークショップの開催状況及び今後の展開等について説明。

【松苗正二会長】

浦川原区総合事務所から説明があったが、何か質問等あるか。

【中村真二委員】

資料16ページに地域将来ビジョンという言葉が出ているが、現在、安塚区地域協議会でも地域のビジョンを考えていこうと取り組んでいるところである。言葉が似ているので、住民から見ると少し混乱してしまいそうな気がしている。この言葉を使ってはダメというわけではないが、紛らわしくないようにした方がよいと感じた。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

今ほどの中村委員のご意見については、我々も同様に感じている。地域農業に係る将

来ビジョンの策定に向けて取り組みを進めているので、説明の中では、地域農業の将来ビジョンという言葉で説明させていただいた。

【中村真二委員】

承知した。

今後、安塚区地域協議会でも各種団体等と意見交換会を実施していきたいと考えており、本日報告いただいたワークショップの内容等を参考にさせていただく。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【吉野誠一委員】

私は5年くらい前に色々なところを回って話を聞いたことがある。その中で農業は儲からないという話をよく耳にした。所得補償が廃止された直後であったこともあり、機械が壊れたら百姓をやめるといようなことをはっきり口に出す方もいた。ここにきて肥料等の値上げなど難しい問題も出てきており、それは別の問題としても、所得補償や儲かる農業にするためにはどうしたらよいかといった内容があまり出ていない気がする。なので、制度的なところも含めて状況をお聞きしたい。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

ワークショップの内容には中山間地域等直接支払制度も含まれている。将来儲かる農業にするために何が必要かといったことも含めて現在ワークショップを行っているところであり、皆様の議論を聞きながら、市としてどのような支援が可能なのか考えていきたい。現在検討中ということでご理解いただきたい。

【吉野誠一委員】

途中ということで具体的なものはなかなか出てこないと思っているが、私は直接支払制度ではなく、所得補償の観点からお聞きした。制度面の話は出ていないか。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

資料13ページをご覧ください。担い手・後継者の確保に関する将来取り組むべきものについて、一番上段に他産業並みの収入の確保、高い米価という項目が載っている。確かに参加いただいた方のご意見の中には、他産業並みの収入がないと農業は難しいところがあるというご意見も多数あった。しかし、すぐに所得補償ということではなく、今のところは農作物を高く販売することなどにより、高い収入を確保していこうというふうに話されていたように思う。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【外立正剛委員】

資料14、15ページについてお聞きしたい。14ページの市内における関心度の差のグラフを見ると、安塚区では担い手・後継者の確保がマイナスになっており、吉川区は大変高い数値になっている。安塚区はそれほど関心を持っていないということか。安塚区は0パーセントの辺りに集中しているように見える。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

安塚区の場合は、何かが突出しているというよりも、中央の0パーセントの辺りに寄っているが、これは関心が低いということではない。吉川区の場合は、担い手・後継者の確保に関する関心が極めて高いため、突出している。安塚区の場合は、色々な分野に対して関心があるので、突出したものがなく、全体的に中央に寄っているというふうに見ていただきたい。

【外立正剛委員】

関心度が平均化しているとはどういうことか。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

色々な分野に対する関心度が平準化しているということである。各分野に対する関心度が大体同じくらいの数値というふうにご理解いただきたい。

【外立正剛委員】

なかなか難しい。

【吉野誠一委員】

全体の中の偏差値ということではないのか。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

偏差値である。グラフが分かりづらくて申し訳ないが、平均から見て関心度が高いか低いというふうに見ていただければよい。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

14ページの左側に区内での関心度を棒グラフにしたものを掲載している。吉川区を見ていただくと、青色の担い手・後継者の数値が高くなっている。安塚区の場合は、全体的に同じくらいの数値が並び、平均化している。

【外立正剛委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【池田裕夫委員】

内容についてはではないが、令和3年度にワークショップを2回開催したということで、開催した時間帯や何時間くらいワークショップを行ったのか、参考に教えていただきたい。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

令和3年度における安塚区のみらい農業づくりワークショップについては、第1回を令和3年11月25日（木）午後6時30分から開催し、第2回を3月25日（金）午後6時から開催している。会場は第1回、第2回ともに安塚コミュニティプラザである。どちらも人数は30人程度、時間は2時間程度である。

【池田裕夫委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【池田康雄委員】

ワークショップに農協はどのように絡んでいるか。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

ワークショップでは、農協の営農部、県振興局農林振興部、市農林水産部で推進チームをつくり、基本的に農協の営農部の職員からは各テーブルに入ってもらい、話し合いがスムーズに進むよう推進役を担っていただいている。

【池田康雄委員】

承知した。

安塚区では、30人程度が参加したということであるが、参加者の人選はどのように行ったか。

【浦川原区総合事務所 山本産業グループ長】

市から、中山間地域等直接支払制度の各協定や農業法人に対して、代表者ではなく、できる限り若い農業者の方を人選していただきたいというふうに依頼を行った。また、そのほかに農協の青年部と女性部、農業委員の方々にもお声掛けを行い、参加いただい

たところである。

【池田康雄委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

ほかに質問等なければ、中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開についての報告は以上で終了する。浦川原区総合事務所の職員はここで退席となる。

(浦川原区総合事務所職員退席)

次に次第4自主的審議事項(1)住みやすい安塚の在り方についての協議に移る。

はじめに本日配布された意見交換会に向けた今後のスケジュールに係る資料について、事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料に基づき、意見交換会に向けた今後のスケジュールに関する事務局案等について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

(質問なし)

今後のスケジュールについて、2案示されているが、協議内容①から順番に協議を進めていく。

まずは協議内容①として、アンケート結果の傾向について、私の方から先日の小委員会で検討した結果を報告し、そのほかに追加すべき傾向がないか、皆さんに意見を伺いたいと思う。

資料に基づき、アンケート結果の傾向について、小委員会で検討した内容を報告。

小委員会で検討した内容について、何か質問等あるか。

(質問なし)

傾向として、このほかに追加すべきと考える内容があれば、発言をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

私は小委員会に出席していたが、その後時間を置いて考える中で、問7について感じた点があるので発言したい。20代から40代では、「とても満足している」または「満

足している」と答えた人が20パーセントから30パーセントほど、「やや不満だ」または「不満だ」と答えた人が10パーセントから20パーセントほどである。それに対して、20歳未満の子どもでは、「とても満足している」または「満足している」と答えた人が約55パーセントである。この傾向の違いをなんとか分析できないかと考えている。

【新保良一委員】

クロス集計結果の資料もよく見させてもらったが、私がより重要視したのは自由意見の方である。

吉野委員が言われたとおり、20代以下の今まさに学業に専念されている中学生や高校生、専門学生の人たちで「とても満足している」と答えた人がこれほどたくさんいたことに驚いた。親の方が心配しているように感じた。児童・生徒数が少ない中でも、皆が和気あいあいと兄弟のように仲良く過ごせているのかもしれない。また、生活面でも親が近くにいればそれほど不便に感じる場面も少ないのかもしれない。

自由意見の記載内容を見ても、若い人の中で良い面としてあげられているのは、直接生活に関連したことではなく、自然環境がいいとか、野山が美しいといったことが多い。ここは少し不安である。年齢を重ねるにつれて、生活感に溢れた回答が多く見られる。若い人の回答を見ると、生活感があまり感じられず、今楽しいことばかり書かれているような気がしているので、もう少し分析が必要であると思う。

【松苗正二会長】

吉野委員と新保委員から意見があったが、これを分析する方法はないように感じる。問7というのは、安塚区の子育てや教育環境について問うものであり、子どもの目線からいうと、今自分たちが良い教育を受けているかどうかという捉え方しかないと思う。マンツーマンではないが、少人数でしっかりと教育を受けており、成績も上位の方であるというような話も聞いている。そういった点を捉えて、満足していると答えた人が多く見られたのではないかと。何か意見等あるか。

【吉野誠一委員】

そのような方向で見ると歪んだ見方になってしまう気がする。子どもは学校を卒業した子も含めてとても満足している子が多い。しかし、親は必ずしもそうではない。満足している人の方が多いが、もしかしたら外部から色々な新しい情報が入っているのかもしれない。子どもは教育のことしか考えてないからというのは、ちょっと行き過ぎになってしまうのではないかと。そのようなことは断定できない。

【新保良一委員】

断定はできないとしても、不安には感じる。

【松苗正二会長】

分析について、吉野委員は何か意見があるか。

【吉野誠一委員】

親も子も平均すると満足しているのではないかと考えている。社会的な外因などは色々あるかもしれないが、全体としては満足しているのではないか。特に男性にはその傾向が強く見られる。親子の関係で考えると面白いかなと思い、提案させてもらった。

【松苗正二会長】

ほかに意見等あるか。

【中村真二委員】

話の腰を折るようで申し訳ないが、今は分析よりも傾向のことを話した方がよいと感じる。もし、吉野委員の言われたような内容を盛り込むとすれば、今資料に記載されている文章の後ろに「40代以上では、不満と答えた人も多い」というような内容を付け加えるような感じではないか。今話すべきことはその程度のことであると考えている。

【吉野誠一委員】

難しい。

【中村真二委員】

今分析をし始めるとキリがないと思う。

【吉野誠一委員】

分析ではなく、親子の関係で見たらどうかということである。

【中村真二委員】

傾向を付け加えるのはよいと思う。

【新保良一委員】

これを基に地域の方たちと意見交換をするわけであるから、こういう結果でただけでは足りないと思う。

【中村真二委員】

それはその後で話し合うのではないか。

【松苗正二会長】

意見交換の中で相手方に投げかけるわけであるから、どういう傾向にあるかを事前に把握することは重要であるが、分からない点は意見交換の中で詰めていくというのも一

つの方法である。

池田裕夫委員は何かあるか。

【池田裕夫委員】

特にないが、本日協議すべき内容の検討を進めた方が良いと思う。

【吉野誠一委員】

傾向について、付け加えるとすれば、親子で見方が異なるというような記載を加えてもらえればそれでよい。

【松苗正二会長】

ほかに意見等あるか。

【小林所長】

これまでのお話を聞いた中で感じたことがあるのでお願いしたい。吉野委員から親子の関係でというお話があったが、回答者の中には当然親子の関係性にある方もいれば、そうでない関係性の方もいらっしゃる。また、かつて子どもを育てていて、現在一定程度年を取られた方もいらっしゃる。そのように色々な方が混じり合っている中での集計結果であるということをご理解いただきたい。親子ということで縛りを入れてしまうと、見方が変わってしまう可能性もある。

【吉野誠一委員】

親子という言い方が悪かったかもしれない。親の世代と子の世代でこれだけ違うという言い方でどうか。

【松苗正二会長】

本日いただいた意見等も踏まえて、今後小委員会などで改めて検討したいと思う。

次に協議内容②意見交換会の日程について協議をお願いしたい。

【中村真二委員】

学校関係については、学校からこの日がよいと決めてもらった方がよいと思う。委員で都合の合わない方も出るかもしれないが、学校の予定を優先した方がよい。

【村松班長】

学校関係については、今のところ、安塚中学校、高田高等学校安塚分校ともに2コマ分の授業時間をもらって、意見交換会を開催させていただきたい旨お伝えしている。時期等については、今後学校側のご都合に合わせて調整させていただくこととしている。

【松苗正二会長】

学校関係については、そのように進めさせていただく。他の区分について、意見交換

会の日程をどのように決めていったらよいか。意見のある方はいるか。

【新保良一委員】

ここで日にちを決めるのか。

【松苗正二会長】

大体の時期を決めるような形である。

【松野修委員】

現実的に8月以降の開始でないと難しいと思う。区分1から順番に開催したらどうか。

【吉野誠一委員】

日程については、相手方の都合もあるので、事務局か会長の方で調整してもらった方がよい。

【萬羽主任】

具体的な日にちは後日検討いただければと思う。全体のスケジュール感として、資料のとおり、お盆明けから意見交換会を開始し、9月末までに全区分の意見交換会を完了するという流れでよいか、ご意見をいただきたい。

【中村真二委員】

それでよいと思う。

【松苗正二会長】

週1回ずつ開催するようなイメージでよいか。

【松野修委員】

そうでないと間に合わないと思う。

【松苗正二会長】

それでは、お盆明けから週1回くらいのペースで意見交換会を開催するような流れで進めていきたい。

町内会長・自治会長については、参加者の人数も多く、ボリュームがあるように思うが、どのように進めたらよいか。

【池田裕夫委員】

曜日をどうするかという問題もあると思う。各町内会の会議等もあるのではないか。

【松苗正二会長】

事務局の方で何か把握している点はあるか。

【村松班長】

詳細なスケジュールについては、今後改めて協議いただければと思う。本日はお盆明

けから意見交換会を開始し、9月末までに完了するという全体のスケジュールを決定いただければよい。先ほど週1回開催するというお話もあったが、その場合1回開催するごとにまとめをするのか、全区分の意見交換会が終わった後にまとめをするのか、今後改めて協議いただきたい。

【松苗正二会長】

先ほど確認したとおり、お盆明けから開始して9月末までに完了するというごことをお願いしたい。

続いて協議内容③と④については、スケジュールが2案示されている。どちらのスケジュールに沿って進めていくか、意見を伺いたい。

【中村真二委員】

スケジュール1の方で進めてみて、うまくいかない場合はスケジュール2にするしかないのではないかと。

【吉野誠一委員】

それであれば、最初からスケジュール2で進めた方がよい。

【松苗正二会長】

本来であればスケジュール1に沿って進めたいところであるが、なかなか意見もまとまらないと思うので、個人的にはスケジュール2を採用した方がよいと考えている。スケジュール1がよいという方は挙手をお願いしたい。続いてスケジュール2がよいという方は挙手をお願いしたい。

(「スケジュール2がよい」多数)

それでは、スケジュール2に沿って進めていく。

【池田裕夫委員】

スケジュール2でよいが、小委員会の委員をもう1人か2人増やした方がよいと思う。

【吉野誠一委員】

既に半数が参加している。

【新保良一委員】

小委員会は半数程度で十分である。

【中村真二委員】

個人的な都合で申し訳ないが、仕事が忙しくなってきているので、来月の小委員会は欠席させてもらいたい。

【松苗正二会長】

池田裕夫委員からもう1人か2人参加してほしいという意見があったが、参加したいという方はいるか。新保委員、いかがか。

【新保良一委員】

参加しても構わないが。

【松苗正二会長】

中村委員が次回欠席となるので、新保委員に参加していただく。

小委員会ではできる限り早く開催した方がよいと思うが、皆様のご都合はいかがか。

【村松班長】

資料では、案として7月2週目前後に小委員会開催と記載しているが、今月でも構わない。

【松苗正二会長】

7月4日（月）開催でいかがか。

【小松光代委員】

何時開始か。

【松苗正二会長】

午後6時30分開始でお願いしたい。

次回小委員会については、7月4日（月）午後6時30分から開催するということがよろしいか。

（「はい」の声多数）

次に次回地域協議会については、7月12日（火）午後7時から開催するということがよろしいか。

（「はい」の声多数）

次々回の地域協議会の開催日も本日決定しておきたいと思う。7月26日（火）前後で都合の悪い日はあるか。

【中村真二委員】

その週は7月27日（水）以外都合が悪い。

【松苗正二会長】

それでは、次々回の地域協議会については、7月27日（水）午後7時から開催するということがよろしいか。

（「はい」の声多数）

【村松班長】

事務局から1点お願いしたい。本日の協議により、今後のスケジュールが決定した。これから7月4日(月)に小委員会も開催されるが、協議内容等を今一度確認いただき、スケジュールに沿って進めていけるようによろしくお願いしたい。

【松苗正二会長】

ほかに意見等なければ、自主的審議事項についての協議は以上で終了する。

ほかに連絡事項等あるか。

(連絡事項なし)

それでは、以上で本日の地域協議会は終了する。

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-592-2003 (内線 23)

E-mail : yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。